



塚田 美登里 展

あめつち

1972年岐阜県生まれ。高岡短期大学金属工芸科卒業(現富山大学)。富山ガラス造形研究所での研究を経て、金沢卯辰山工房でも研鑽を積む。2011年に富山市に自宅兼工房を設立し、独立。国内外で高い評価を得ている注目の作家。自然のエネルギーをいつくしみ、自然界の美しい形にインスピレーションを得てガラスと金属箔とが融合した作品を制作。

4.1 WED ~ 4.6 MON



「光林」
H51.5×W45.5×D26.3cm

本館6階 美術画廊 [ガラス]

宇野 かこ 展

1974年渡仏。パリ国立美術学校造形学部、エコール・デ・ボザールで学ぶ。数々のパリ国際展で入賞入選・招待され、国際的に評価も高く、ブランドデザイン空間美術やスポーツウェア・書籍・表紙画等幅広い分野で活躍。今展は、個展50回記念展として、自身の色彩である「ローズレッド」を美しく優しく、さらに力強く表現した「宇野かこの世界」を展開。

4.1 WED ~ 4.6 MON



「ミュゼへ行こう」
P50号
油彩

本館6階 美術画廊 [洋画]

—僕を残して遠くに 行ってしまったシャボン玉— 木村 俊也 展

1988年福島県生まれ、2011年宇都宮大学教育学部教育美術卒業。2013年筑波大学人間総合科学研究科芸術領域彫塑専攻修了、以後個展・グループ展にて作品を発表。今展では「そこにあっただであろう可能性」について造形している作品など動物を通して自身の事物の捉え方、在り方を表現した木彫作品を約25点展観。

4.1 WED ~ 4.6 MON



「麒麟」
H40×W39×D13cm
樟、着色

本館6階 美術工芸サロン [彫刻]

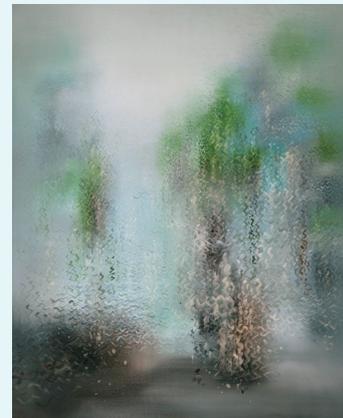
ワン ショウエイ 王 舒野 展

—庭の時空ヌード—

1963年、中国黒龍江省生まれ、清華大学美術学院を卒業後1990年来日。それから10年間は作品の発表はせずに、宗教・哲学など東西の精神世界の探究と独自の絵画表現の創出に専心。現在は、鎌倉と中国北京にも広大なアトリエを構え、アジアだけでなく欧州を含め国際的に発表を行なう。9回目の個展となる本展では、身近な場所である「庭」というモチーフを、油彩画や墨絵、鉛筆によるドローイングの他、アクリル絵具による作品も展観。

4.1 WED ~ 4.20 MON

本館6階 美術画廊X [絵画]



「庭の時空ヌード・即(209)」
H162×W130.3cm
油彩、キャンバス

鳥羽 美花 展

幻影を巡る旅 - with Katazome

京都市立芸術大学大学院修了。日本独自の染色技法である「型染め」を駆使し、新たな染色絵画の世界を切り開いた。1994年に初めてベトナムを訪問して以来、経済発展と共に失われてゆくベトナムの光景を描いた一連の大作を制作し、ベトナム政府より「文化功労賞」を授与される。国内では「都市文化奨励賞」「京都市芸術新人賞」など19の賞を受賞した他、これまでの文化活動が日越友好関係増進に寄与したとして外務大臣表彰を受賞。今展では新・近作を含め約20点を展観予定。

4.8 WED ~ 4.13 MON



「スカーフの向こう側」
二曲屏風 (H141×W190cm)
型染、白山袖

本館6階 美術画廊 [染織]

第23回 手のひらの小宇宙 現代根付展

根付は、印籠や煙草入れなどを持ち歩くために帯の下をくぐらせて留具とした装身具で、突起の少ない丸みを帯びた形や適度な大きさ・堅牢性などの制約がある。この実用を兼ね備えた“用の美”からくる独特な造形と洒落が特徴で、収集するだけでなく手のひらにおさめて愛でる楽しさにも大きな魅力があり、年々愛好者が増えている。今展では、日本文化を語り継ぐ現代根付の秀作約80点を一堂に展観。

4.8 WED ~ 4.13 MON

本館6階 美術画廊 [工芸]



粟田 元正
「鶴」
H5.9×W1.9cm
鹿角

崔 龍熙 陶展

本館6階 美術工芸サロン [陶芸]

2013年京都府立陶工高等技術専門学校卒業。京都を拠点に制作。現代陶芸家の近藤高弘氏の内弟子として京都で六年間の研鑽を積んだ。作品は李朝陶の影響を受けており、当時の李朝の陶工たちがどのように作陶に向き合ってきたかに思いを馳せながら、そして現代の暮らしにも馴染む器作りを大切に作陶。三島、粉引、刷毛目などの器を中心に、花器などの新作を展観。



「刷毛目壺」
H46.2×Φ35.5cm

4.8 WED ~ 4.13 MON

作陶55年記念 加藤 溪山 青瓷展

本館6階 美術画廊 [陶芸]

京都市立芸術大学美術学部工芸科陶磁器専攻を卒業後、青瓷一筋に研鑽を重ねる。中国、北宋の白瓷や南宋から元時代に到る青瓷に倣いながら、そこに現代性も盛り込んだ独自の作品は、透明感のある深い緑色の代表作「天龍寺青瓷」を始め、淡い青の「砧青瓷」、優美で温かみのある発色の「牙黄磁」と、それぞれの色味と造形が調和し、青瓷の魅力である格調を見事に表現している。今展では、花器や、鉢、茶道具、食器等、新作を一堂に展観。



「砧青瓷香炉」
H10.3×Φ9.3cm

4.15 WED ~ 4.20 MON

across generations

本館6階 美術画廊 [洋画]

— 世代を超えて —

画家や鑑賞者が絵画に求める、心地よさや心ときめく共振、あるいは記号としての「美」は、個々の本性に依存しながらも、幼少時からの感性を育む環境の違いも大きく、本質的希求は変わらずとも、絵画に求める様式や技法には、世代間の違いがある。今展では、「空」をテーマに、30代から80代までと世代を超えた7人によるそれぞれの絵画志向と、画家の個性とともに時代の感性の動きを感じられる作品を発表。

【出品作家】(五十音順・敬称略)

後藤 まりえ・関口 雅文・白田 彩乃・
前田 利昌・宮田 みな美・藪野 健・山本 正英



山本 正英
「オールド橋(ベリック・アポロン・ツイード)」
F30号
油彩

4.15 WED ~ 4.20 MON

堆黒人形ウルシノビ^{しちほうで} - 柒方出^{しちほうで} - 白澤 陽治 展

本館6階 美術工芸サロン [彫刻]

1984年香川県生まれ、2014年東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復(彫刻)博士後期課程修了。

「漆の美」と「忍耐の技術」を端緒として、漆を100回以上塗り重ねて生まれた、ソフィスタイルの堆黒人形《ウルシノビ》。

本展では、漆・七の異体字「柒」と、忍びの七つの変装術「七方出」になぞらえ、堆黒や乾漆で造形した《ウルシノビ》という様式から生まれる様々な姿を通して、漆の変幻自在を表現。



堆黒人形「ウルシノビ」
(未塗装ソフィ人形様式)
H27.6×W11.5×6.5cm
漆(日本産)

4.15 WED ~ 4.20 MON

入江 明日香 新作展

本館6階 美術画廊 [絵画・版画]

銅版画のカラージュと筆の描画を駆使した独自のミクストメディア作品で注目を集め、手漉きの和紙を使用するなど素材にもこだわり、その作風は近年より緻密さを増すとともに各地で開催される展覧会でファンを魅了。

日本橋高島屋では2回目となる本展では新たな試みとして、作家が敬愛するフランスの建築家エクトール・ギマルの建築図面デッサンを背景に取り入れ、今年の干支の馬や、龍、人物を100号大サイズとして5点同時に発表し、小品や版画作品も含めて20余点を展観。

【ギャラリートーク】4月22日(水)午後4時から



「Du songe universel (普遍の夢)」
H170×W122cm
ミクストメディア

4.22 WED ~ 4.27 MON

林 亜美 展

本館6階 美術工芸サロン [陶芸]

1975年東京都町田市生まれ。2001年東京藝術大学大学院美術研究科陶芸専攻を修了。その後、2013年日本伝統工芸展入選、2019年陶美展奨励賞、2024年陶美展特別賞を受賞するなど活躍の幅を広げている。泥しゅうで線を立ち上げ、その間に釉薬の色をのせる「いっちゃん技法」を用いて制作された作品は、やさしくそして力強い土味が造形と彩色との調和を生み出している。今展では華やかで上品な色調の花器から食卓を彩る食器まで幅広く展覧。



「筒描遊舞壺」
H26×Φ20cm

4.22 WED ~ 4.27 MON

		4月																																			
		1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木						
本館6階	美術画廊	塚田 美登里 展						準会場	鳥羽 美花 展						準会場	加藤 溪山 青瓷展						準会場	入江 明日香 新作展						準会場	桑山 真麻弓 展							
		宇野 かのこ 展							現代根付展							across generations														大沼 蘭展							
	美術画廊X	王 舒野 展																														準会場	箕輪 菜海 展 ※5月11日(月)まで				
2本階館	美術工芸サロン	木村 俊也 展						準会場	崔 龍熙 陶展						準会場	白澤 陽治 展						準会場	林 亜美 展						準会場	大豆生田 綾子 展							
	アートアベニュー	塚原 梢 展 ※5月4日(月・祝)まで																																			

誠に勝手ながら都合により催内容、会期など一部変更または中止となる場合がございます。営業日・営業時間、催内容、会期の最新の情報は高島屋ホームページをご覧ください。



Takashimaya S.C. NIHOMBASHI

高島屋各店美術画廊・展覧会のご案内はホームページでもご覧いただけます。



高島屋 美術

検索